

第 6 回千歳市次世代育成支援対策地域検討会 会議概要

開催日時	第 6 回 平成 22 年 1 月 29 日 (金) 午前・午後 1 時 30 分 ～ 午前・午後 3 時 10 分
開催場所	千歳市社会福祉協議会 2 階会議室
出席者	千歳市次世代育成支援対策地域検討会委員 田中博之 (会長)、児玉美津子 (副会長)、中村光彦、森田有紀、高田幸子、立花八寿子、瀧川裕子、二ツ屋 香、中村幸子、藤木邦啓、野崎美香、高浜真理子、庄司智子 以上、13 名出席 (欠席 4 名：新谷俊一、中野和久、村上峰子、林むつみ) 事務局 保健福祉部次長、子育て推進課長、子育て計画係長
配布資料	・千歳市子育て支援計画[後期計画]案 (H22.1.22 現在) ・パブリックコメント (意見公募) 手続による意見募集の結果公表 (様式第 3 号)
開会	・会長あいさつ
議 題	(1) 計画 (案) について (2) その他
その他	
閉会	

会議概要

〔開会〕

- 事務局より本日の欠席者について報告

〔会長あいさつ〕

早いもので最後の検討会となりました。学校の方では昨年は新型インフルエンザで右往左往させられましたが、新年を迎え冬休みが明けて今のところ治まりを見せておりますが、今後また季節型のインフルエンザにも警戒していかなければならないとも思っている状況です。

さて、前回第 5 回の検討会では計画素案について協議いたしました。保育サービスに関わる内容については、保育課長が来られて直接今後の方向性についてご説明をお聞きしました。

また、会議の中で各委員の皆様から出されたご意見について、市役所内の各部署で再度検討された結果を踏まえて、パブリックコメントで公表された素案の内容になったとのことでした。

本日の会議ではパブリックコメントの期間も終えて、前回の素案からの変更点や修正された結果の計画 (案) について事務局より説明を受けた後に、各委員よりご意見をいただきたいと思っております。本日が最後の会議となりますので、どうぞご忌憚のない意見をお出しくださいますようお願いいたします。

〔議題〕

議題（1）計画（案）について

●事務局より

計画（案）の説明の前に、パブリックコメントの結果について資料を基に説明。

結果の公表について、今週はじめ（1/25）から市のホームページで公表中です。期間中に寄せられたご意見は4人から12件、その内の2件を計画（案）に反映しています。

計画（案）の内容について、素案との変更点を中心に目次の順に説明します。

- ・「第2章 子どもを取り巻く千歳市の現状」の「1 子育て環境の現状」について
保育サービスの利用状況の資料として「(5) 認可保育所・幼稚園の入所・入園状況」について追加掲載する。
- ・「第3章 計画の基本的な考え方」の「4 主要指標」「(2) 目標事業量」について素案では調整中となっていた「到達目標（H26年度）」の指標等を整理した上で目標値を設定し掲載する。
- ・基本目標1～7にかかる具体的施策の一覧について、パブリックコメントの意見を反映し、「所管課」の欄を追加し事業の担当課を掲載する。
- ・「第4章 目標の実現に向けた施策の展開」についての主な変更箇所を説明。
全体として、7つの基本目標に、24の施策の方向性、119の具体的施策となっている。事業内容等を明確にするための細かな文言の修正等は必要に応じて今後行う。
- ・「第5章 後期計画の推進にあたって」の「1 地域全体による経過の推進」について、内容を補足し、その内容をわかりやすく伝えるための図も含めて修正している。

今後の事務の流れについて、2月3日、2月10日の庁内の計画策定会議での意見を精査し、2月19日開催予定の保健福祉調査研究委員会におけるご審議を経て、議会へ報告します。その後、市長の最終的な意志決定を受け、計画書と概要版を作っていくことに予定しています。

（質疑応答・意見等）

会 長

事業名の変更で「私立幼稚園に対する各種補助金の交付」を「私立幼稚園に対する補助事業の実施」に変更した、また、幼稚園にかかわる事業名が「推進」から「促進」に変わったというのは事業内容ではどのように変っているのですか。

事務局

事業の目的を明確にするために事業名タイトルを変えただけで事業内容は変わりません。「推進」と「促進」では実施主体が市であるものを「推進」そうでないものを「促進」とし、市が自ら出来るものは「推進」、幼稚園については市立幼稚園ではなく全部が私立ですので、市としてはこの事業を推進していきますが、やっていただくのは幼稚園ということになり、市はそれに対して側面から応援します。その方法として補助金の交付などを行って来ていますが、それはあくまでも手段の一つであり、ここでは手段ではなく市としての目標を掲げるということで文言の整理をしたものであり、事業内容が変わったということではありません。

委員

計画内に町内会館や児童館などが出てきているが、さて町内会として子どもたちに実際にどんなことをしたら良いのか。町内会の各青少年部会では子どもが居ないから青少年部会が無くても良いという町内会も多くある。市町連の青少年部会の活動についても参加する子どもを集めるのが大変な状況。町内会の役割などがもう少し見えてくれば部会としても動きやすくなるのではないかと思います。また、計画の内容については全く問題ないですが、実際にどのように実施していくのかが問題だと思います。

会長

子どもたちを取り巻く環境として家庭、学校、地域といわれ、その中でも地域として町内会の果たす役割は今人間関係の希薄化といわれる中で大変大きいと思いますが、では具体的にどんなことをやっていけばよいのかというご意見でしたが、事務局いかがですか。

事務局

「今後の課題」(P22~23)にアンケート結果から「子育てをする上で近所や地域に望むこと」などの記載がありますが、子どもに限らず地域が人と人の接点となる場所であり、その中で町内会活動などの活動をされている方はアンテナを持っていただいていると思います。これからどのような市内の子育て支援のネットワークづくりをしていくのかと考えたときに、色々な立場で色々な優先順位を持っている人たちが子どもたちに何ができるのかを考えて、できる範囲で小さな活動を実行していくことが大切だと考えています。そのためにこれからは、ちとせっこセンターの「ちとせ子育てネットワーク会議」を中心に情報を発信し、それぞれができることや手段・方法を情報提供していくようなネットワークの構築を目標としています。

委員

今、町内の活動について言われましたが、民生委員も住民との接点は強いと思います。民生児童委員の活動として子育てサロンを行っていますが、子育てサロンは地域ばらばらで全然自分の地域でなくても来てくれればその中でつながりができますので、4 か月健診でも子育てサロンを紹介しています。子育て総合支援センターは活動を支えてくれる大変頼りになる存在です。先日、主任児童委員に対して子育てサロンの活動への感謝状を頂きましたが、それもこれからの活動の励みになりました。今後も地域に根ざした子育てサロンを続けていきたいと思います。

委員 (子育て総合支援センター長)

「ちとせ子育てネットワーク会議」の取組状況について説明します。平成20年8月に会議を設置し、アリスこどもセンターにご協力をいただきながら進めています。市内ではさまざまな子育て支援活動が行われていますので、これまではお互いの活動を知り合うことから始めています。年1回研修会も開催し、参加者の中でグループワークや情報交換など子育て支援を考えてきている状況です。後期計画における役割は大きいと認識し、ネットワーク会議の中での情報交換がそれぞれの活動につながり、地域に根ざしていけるような取組にしたいと考えます。

会長

それでは計画案については、以上で終わります。

議題 (2) その他

会 長

今回が最後の検討会となりますので、これまでの感想あるいはこれからの子育て支援に対するご意見などについて、委員お一人ずつからご発言いただきたいと思います。

委 員

今、ファミリーサポートセンターを所管しています。今回の計画の中で子ども達一人ひとりへの対応ができると思いますが、その狭間にいる子ども達のためにファミリーサポートセンターとして3人の職員が進めています。これから進める中では病時・病後児に対する緊急サポートの役割について具体的に実施することは大変ですが、今後検討しながら進めたいと思っています。この会議でも皆様からご意見をいただきまして大変ありがとうございました。

委 員

(子育て支援にかかわる) 自分の思いを聞いていただきたい一心でお話ししてきました。皆様とお話しできたことに感謝申し上げます。

委 員

先程たくさん発言しましたので特にありません。

委 員

子ども一人を育てるのには、たくさんの公的機関や地域・学校などたくさんの人たちが関わってみんなで支えようとしていることを、この会議に参加して感じました。この計画にはたくさんの事業が載っていますが、計画ばかりが先走ることがないようお願いしたい。個々の家庭が色々な相談窓口や施設に行くと思うので、それぞれに合わせた対応をお願いしたいと思います。また、子ども達の事や子育て支援の取組がされていることや、このような計画があることについても、親たちにも知ってもらい活用してもらえよう周知することが必要だと思います。

委 員

以前は子育てサロンに関わっていましたが、最近、学校と小学生に関わる機会がありました。その中で、やはり地域・家庭・学校の連携が求められると感じています。学校では先生方が忙しすぎる様子で、家庭からの要望は色々ありますが、学校から家庭に対しては出しにくい現状があると思います。お互いの意見を出し合うことは必要なことですが、最終的には子ども達にとっての対応を考えなければならないと思います。淋しがる、甘える子ども達に接して、食事の面や生活の面で大変な思いをしている子ども達がいると感じます。今回会議に参加したことを参考にこれからも子ども達に関わっていきたいと思っています。

委 員

計画案を考える中で、これまで実際にやってきたことを再認識させられる部分と、後期計画の中で推し進めなければならないという大きな役割を感じながら、この会議に参加してきました。今後とも子育て総合支援センターにご意見等をお寄せいただき、また、委員の皆様方ともこれを機会に繋がっていければと思います。今後ともよろしくお願いします。

委 員

この計画に関わらせていただいたことに感謝します。色々な部署で色々な取組を行っていることを知ることができました。これまで、市全体のさまざまな取組をたとえば引越して

きた方に伝えるとき、千歳市として他市と何が違うのかと考え、やっていることを分かりやすく伝えるためには何をしたら良いのかと考えてきました。また、地産地消などのイベントでもいいのですが、市の組織全体が関わるような大きな一つのイベントがあれば良いと思います。たくさん色々なイベントがあるけど関わりがないと関心がありません。関わるきっかけになるイベントなどがあると良いと考えていました。この会議に参加してまた深く考える機会となりました。

委員

保健所で虐待を予防する立場で行動しています。この会議に参加して、日頃かかわる虐待やネグレクトのお子さんに対する地域の温かな細かな状況を知る機会にもなり大変良かったです。子育て支援会議というのも後期に向けて動き出します。市で月2回実施している育児相談が120人を超える状況があることから、その母親達は何を求めているのかアンケート調査を行い、その結果をまとめた情報等を各子育て支援の方々と共有することなどにより子育て支援の活動に繋がっていければよいと市の担当者と相談しています。また、心の健康相談を担当して関わる中でも母子保健や子育て支援が虐待などの予防になる大切な取組だと感じています。千歳市が後期に向けて、お互いの役割が分かり課題を共有することが出来れば、主体的な取組を行う団体が増えて良い環境を作っていけると考えていますので、今後とも、よろしくをお願いします。

委員

生活支援と障がいをもつ方の支援を行っているNPO法人で、私は主に障がいをもつお子さんの学校から帰ってきてから夕方6時頃までを看ています。子どもは障がいの有無を関係なく、「私を見て」という想いがあります。複数の子どもたちを看ていくことは大変ですがこの活動を続けたいと思っています。今回、子ども達がこのように色々な人や団体に守られていることを知りました。また、10年前まで教員でしたが、そのときは毎日追われている状態で、このようなことは知らなかった。今の先生方も知らない人がいるかもしれないので、周知知らせしていくことが必要だと思います。

委員

この会議に参加して、子どもが色々な方に守られていることを知って感謝しています。今、子育て真っ最中の私に何ができるかと考えたとき、自分の子だけではなく、ほかの子に対しても同じように接していけたら良いなと感じています。次代を担う子ども達が、この計画によって、みんな笑顔で元気に育ってくれたら良いなと思っています。

委員

15年位前までの幼稚園は通ってくる園児に対することを考えるだけでいっぱいでしたが、その間でも地域の中で何かできないかと考えてきて、今も考えています。昨日、幼稚園で人形劇団を招いて鑑賞教室を行いました。はじめ眠そうな子も居ましたが、園児の感想として「涙が出そうだった」という子がたくさん居ました。自然保護のことを絡めた楽しいお話でしたが、そんな子ども達の姿を見てほしくて保護者の方にもご案内しましたが1割位しか参加されませんでした。考えてみれば仕事をされている保護者も多いこともあります。今後は、向陽台という地域性の中で、町内会や地域の方々も巻き込んで、私立ですけれども色々な面で手を携えて子育て支援を進めていくことが必要なのではないかと考えています。

副会長

常日頃子ども達と関わっていて、一番大切なのは子ども達の想いを汲み取った深い情愛をもった親の愛情だと思っています。そして数ではなく質を深めていくことが大切だと思います。「親ばか」という親の愛情に支えられて子どもは育つと思います。地域の人たちが愛情をもって接してくれる些細な声かけや行動が子ども達の今日一日を頑張ろうとする励みになる。親は忙しく余裕がない生活をしている中で、地域で時間に少しだけ余裕がある人たちの支えや見守りが大切だと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

会 長

この会議に参加するまで、私もこのような会議は初めてで、学校のことしか知らなかったように思います。地域や家庭などや、それを市がどのように支えているのかなど良く分からないことがたくさんありました。この会議の中で、少しずつ分かった気がします。大変勉強になり感謝しています。この計画には3つの基本理念と7つの基本目標を達成するためのたくさんの事業があります。これを進めていくための予算も必要だと思いますが、次代を担う子ども達のためにこの一つひとつの施策の実現に向けて取り組んでいただきたいと思います。

〔その他〕

●事務局より今後の日程について

計画書が完成するまで、委員の皆様の任期となっていますので、完成後、改めてご連絡させていただきます。お手元に届く計画書は、委員の皆様のご意見が盛り込まれたものとなっておりますので、それぞれの立場で情報発信していただければと思います。長い間、ご協力をいただき、大変ありがとうございました。

〔閉会〕

●天野保健福祉部次長あいさつ

皆様におかれましては、千歳市子育て支援計画後期計画策定に当たり、さまざまな事柄を検討していただくため、平成20年度にこの検討会の委員を引き受けていただき、今日まで多くの貴重なご意見をいただき本当にありがとうございました。当市におきましては、子どもを取り巻く環境や子育て支援のニーズが変化してきている中で、地域全体で子育てを応援するという考え方に基つき、まちづくりを進めてきております。このような中で、皆様の貴重なご意見を基に、これからの子育て支援の推進を図る指針となる計画として子育て支援計画後期計画を策定いたします。この検討会は本日が最後となり、計画づくりは終了いたしますが、この計画を実りあるものとするため、皆さまには引き続きそれぞれの立場で、それぞれの視点から今後ともお手伝い、そして応援していただきたく思います。合わせて当市におけます子育て支援をはじめとする福祉行政におきまして皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。本当にお礼の言葉といたします。本当にありがとうございました。

●田中会長あいさつ

平成20年11月の第1回検討会から足掛け3年にわたって、検討してまいりました。お仕事をもちながら、ご家庭をもちながら、この会議にご参加いただき、ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。